

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成30年(2018)4月10日

No. 124

発行 高津啓洋

米国青年隊イタ市で植樹



イタ市に提供された苗木

アメリカの青年を中心にイタ市と共に植樹活動が行われその様子が、写真と共に送られてきました。

(パラグ



イタ市市長の挨拶

アイ支部
ロタ支部
長)

イタ市は定期的に植樹活動をし、緑を守る会から毎回苗木が提供され

ています。

3月末に、米国から来た青年奉仕隊が植樹活動に参加しました。

イタ市市長の歓迎のあいさつに続き、感謝状が渡されました。式典の後、全員でイタ市の街路樹となる植樹を行いました。

蛇足ですが、イタ市には、日本人移住者の方で、養鶏で成功した前原弘道さんが建てたお城があります。



イタ市にあるお城です

首都圏支部長会議開く



4月8日、大山会館で、首都圏の支部長会議が行われました。東京(中田支部長)、武蔵野(溝垣支部長)、千葉(大滝支部長)、船橋(河原支部長)、北関東(中島支部長)、湘南(奥平支部長)、長野(高津理事長)。将来的には40支部から120支部に増やしていこうとしています。各支部の様子と活動の報告が行われました。

湘南支部の奥平支部長は命を守る千年の森づくりに参加し、湘南地域に多くの植樹を毎年続けてきました。

特に、湘南支部から近い江ノ島を中心としたエコツアーは何回も行われてきました。高麗山へのエコツアーも、地域の子供たちが参加したりして、喜んで行われてきました。これからもツアーの予定を決めますので参加希望の方は事務局にご連絡ください。